



6月21日は、がん支えあいの日

十和田市立中央病院

第4回

がん支えあいの日

落語講演会



いぐち つよし
樋口 強

悪性度が高く生存率が低いといわれる肺小細胞がんを乗り越えてきた講師が、生きる喜びやいのちの大切さを笑いに載せてわかりやすく楽しく語ります。

公演では、がんに出会ったからこそいえる「輝いて生きる」の知恵をお話します。

高座では「いのちの落語」で思いっきり笑って生きる希望と勇気をお持ち帰りいただきます。

3年生存率5%のがんと出会って一六年。「笑いは最高の抗がん剤」が信条の講師が語る

いのちの落語 講演会

演題 「生きてるだけで金メダル」

講師 樋口 強

いぐち

つよし

・企業人として東レ(株)で新規事業立ち上げの最前線にいた。1996年、43歳のとき、悪性度が高く生存率が極めて低いと言われている肺小細胞がんに出会う。

・手術と抗がん剤治療で乗り越えたが、抗がん剤の後遺症である全身のシビレは今でも続いている。日常生活に不自由はあるものの、家庭での毎日のリハビリで「普通のこと、普通のできる喜び」がいのちを支えてくれている。

・現在は執筆活動の傍ら、「笑いは最高の抗がん剤」、「生き方は自分が決める」、「普通のこと、普通のできる喜び」、「生きてるだけで金メダル」などをテーマに全国で「いのちの落語講演会」を開催している。2007年10月にはイタリア・ミラノで「いのちの落語 in milan」公演を成功させ、その活動は海外にまで広がっている

・全日本社会人落語協会副会長

「いのちに感謝の独演会」主宰、1952年生まれ

日時：平成24年6月16日(土)

開場：12:30 開演：13:00 から

場所：十和田市立中央病院 駐車場内

「さわらび会館」

参加費：無料

先着
定員 200名

お問い合わせ先：

十和田市立中央病院 広報 中村 0176-23-5121

本状に代表者様のお名前と参加人数をご記入のうえ FAX してください

0176-23-2999

	様	名
--	---	---

代表者様のご連絡先 TEL

共催：がん患者と家族の会 くつろぎサロン
 十和田地域緩和ケア支援ネットワーク
 NPO 法人 キャンサーリボンス
 十和田市立中央病院
 後援：セーフコミュニティとわだ